

令和2年度（令和元年度事業対象）

大洗町の教育に関する事務管理及び  
執行状況の点検・評価報告書

大洗町教育委員会



# — 目 次 —

第1 点検・評価の概要	.....	1
1. 趣旨		
2. 点検・評価の対象		
3. 点検・評価の方法		
4. 大洗町教育委員会評価委員名簿		
5. 評価委員会実施日		
第2 教育委員会の活動状況	.....	3
1. 大洗町教育委員会について		
2. 教育委員会会議の開催状況について		
3. 令和元年度教育委員会の予算・決算状況について		
4. 主な教育委員会の活動状況について		
第3 教育委員会事務事業の点検・評価シート	.....	14
1. 豊かな人間性をつちかう教育の推進 (No.1～5)		
2. 確かな学力を身に付ける教育の推進 (No.6)		
3. 健康な心と体を育てる教育の推進 (No.7～9)		
4. 学校・家庭・地域の連携 (No.10)		
5. 社会の変化に対応した教育の充実 (No.11～13)		
6. 質の高い教育環境の整備 (No.14)		
第4 評価委員からの総合評価・意見	.....	43

## 第1 点検・評価の概要

### 1. 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。)により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに公表することが義務づけられています。

本報告書は、地教行法第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、令和元年度における大洗町教育委員会の事務事業の点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2. 点検・評価の対象

大洗町教育振興基本計画に基づき、令和元年度に実施した教育委員会の活動の状況及び主要施策とします。

### 3. 点検・評価の方法

大洗町教育委員会の主要施策について、事務事業ごとに自己評価を行ったうえ評価シートを作成し、大洗町教育委員会評価委員より評価シートをもとに意見・助言をいただきました。

#### 4. 大洗町教育委員会評価委員名簿

任期:令和2年4月1日～令和3年3月31日

氏名	役職等
生越 達	茨城大学 教授
平山 洋美	元学校長

※敬称略

##### 大洗町教育委員会評価委員規則

###### (設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、大洗町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うに当たって、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、大洗町教育委員会評価委員（以下「委員」という。）を置く。

###### (所掌事項)

第2条 委員は、次に掲げる事項を所掌する。

(1)教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について意見を述べ、又は助言を行うこと。

(2)前号に掲げるもののほか、必要と認める事項

###### (定数等)

第3条 委員の定数は、2人以内とする。

2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

###### (任期)

第4条 委員の任期は、1年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

###### (補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

#### 5. 評価委員会実施日

- ① 令和2年10月15日(木)                      ② 令和2年11月10日(火)

## 第2 教育委員会の活動状況

### 1. 大洗町教育委員会について

大洗町教育委員会は、(地教行法第4条第1項・第2項により) 町長が町議会の同意を得て任命した教育長及び4名の委員をもって組織されています。また、(地教行法第4条第5項により)委員には保護者が含まれるようにしています。

平成27年度から地教行法の改正により、教育委員会を代表する教育委員長と事務局を統括する教育長が一本化されました。よって、教育長が、教育委員会会議の主宰や事務の執行、事務局の指揮監督など、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表することとなります。

令和元年度 大洗町教育委員会

職 名	氏 名	就 任 日
教 育 長	飯 島 郁 郎	地教行法の改正により 平成27年 4月1日就任
委 員	會 澤 治	平成25年10月1日就任 平成27年 4月1日 教育長職務代理者就任
委 員	岡 部 千 草	平成29年10月1日就任
委 員	伊 藤 雅 彦	平成26年10月1日就任
委 員	下 山 一 仁	平成26年10月1日就任

## 2. 教育委員会会議の開催状況について

教育委員会の会議においては、大洗町教育委員会事務委任規則第2条各号に掲げる事務や、特に協議を要する事項について審議し決定します。そのほかについては教育長にその事務を委任しています。

教育委員会の会議には定例会と臨時会があり、定例会は毎月開催し、臨時会は必要に応じて開催しています。令和元年度は、定例会を計11回開催しました。

教育委員会会議	開催回数	議案件数	協議件数	報告件数	選挙件数
定例会	11回	24件	1件	22件	0件
臨時会	0回	0件	0件	0件	0件

### ○定例会議内容

年 月	議 事 内 容
平成31年4月	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗町教育委員会臨時職員管理規則の一部改正について</li> <li>・ 大洗町史跡調査検討委員の委嘱について</li> </ul>
	<b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域外就学申請の承諾について</li> <li>・ 指定校変更許可申請の許可について</li> <li>・ 寄附受け入れについて</li> </ul>
	<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第22回大洗町近郊バスケットボール大会について</li> <li>・ 森の音楽会の開催について</li> </ul>
令和元年5月	<b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域外就学申請の承諾について</li> </ul>
	<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度公民館基礎講座受講者数について</li> <li>・ 第22回大洗町近郊中学校バスケットボール大会の結果について</li> <li>・ 第3回ひぬま夏海マラソン大会について</li> </ul>

令和元年6月	<b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度大洗町奨学生について</li> </ul>
	<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道洋上体験学習事業について</li> <li>・ 水泳教室事業について</li> </ul>
令和元年7月	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度小・中学校において使用する教科用図書並びに小・中学校特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書について</li> <li>・ 大洗町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について</li> <li>・ 大洗町教育委員会評価委員の委嘱について</li> </ul>
	<b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準要保護児童生徒の新規認定について</li> </ul>
	<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海っ子・山っ子交流事業について</li> <li>・ 第3回ひめま夏海マラソンの実施報告について</li> <li>・ 第24回石井藤吉郎杯中学校野球大会について</li> <li>・ 国体炬火イベント・採火式の実施報告について</li> <li>・ 国体炬火イベント・集火式の実施について</li> </ul>
	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見について</li> <li>・ 大洗町営テニスコートの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について</li> </ul>
令和元年9月	<b>【協議】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(案)について</li> </ul>
	<b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗町教育委員会委員の任命について</li> <li>・ 寄附受け入れについて</li> </ul>
	<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員学校訪問について</li> <li>・ 第44回芸術文化祭について</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第24回石井藤吉郎杯中学校野球大会結果報告について</li> <li>・ いきいき茨城ゆめ国体・大洗町開催競技の開催について</li> </ul>
令和元年10月	<p><b>【議案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗町教育委員会臨時職員の給与に関する取扱要項の一部を改正する告示の専決処分につき承認を求めることについて</li> <li>・ 大洗町立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部を改正する規則の専決処分につき承認を求めることについて</li> <li>・ 大洗町教育認定子どもに係る私立幼稚園及び認定こども園の利用者負担額に関する規則の一部を改正する規則の専決処分につき承認を求めることについて</li> <li>・ 大洗町立幼稚園預かり保育の実施に関する規則について</li> </ul> <p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域外就学申請の承諾について</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いきいき茨城ゆめ国体・大洗町開催競技の開催について</li> <li>・ 通学合宿事業について</li> <li>・ 第3回埋蔵文化財企画展『常陸鏡塚』について</li> </ul>
令和元年11月	<p><b>【議案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について</li> <li>・ 令和元年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見の専決処分につき承認を求めることについて</li> <li>・ 令和元年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見について</li> <li>・ 大洗町奨学生選考審議委員会規程の一部改正について</li> <li>・ 大洗町青少年センター設置条例の一部を改正する条例について</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年成人式について</li> <li>・ 第7回特別展「武石堯絵画展～灯台とその風景、そして万葉奈良の寺院・仏像を描く～」の結果について</li> <li>・ 第74回三浜駅伝競走大会について</li> <li>・ 磯浜古墳群の国指定について</li> </ul>
令和元年12月	<p><b>【議案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 善行青少年の審査について</li> </ul>

	<p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定校変更許可申請の許可について</li> </ul>
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗音楽祭2020について</li> <li>・ 文化財防火デーについて</li> <li>・ 埋蔵文化財企画展『常陸鏡塚』の結果について</li> <li>・ 第74回三浜駅伝競走大会の結果について</li> <li>・ 第37回大洗マラソン サンビーチマイルレースの開催について</li> </ul>
令和2年1月	<p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域外就学申請の承諾について</li> <li>・ 区域外就学届出(私立)の承認について</li> <li>・ 指定校変更許可申請の許可について</li> <li>・ 準要保護児童生徒の新規認定について</li> </ul>
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度卒業式・令和2年度入学式の日程について</li> <li>・ 太鼓の祭典2020について</li> </ul>
令和2年2月	<p><b>【議案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見について</li> <li>・ 令和2年度大洗町一般会計予算(教育費関係)に対する意見について</li> <li>・ 使用料等の見直しに伴う関係条例の整備等に関する条例について</li> </ul>
	<p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域外就学申請の承諾について</li> <li>・ 区域外就学届出(私立)の承認について</li> <li>・ 指定校変更許可申請の許可について</li> <li>・ 準要保護児童生徒の継続認定について</li> <li>・ 善行青少年の追加について</li> <li>・ 寄附受け入れについて</li> </ul>
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯学習フェスティバルについて</li> <li>・ 第20回全国体操小学生大会の開催について</li> </ul>

令和2年3月	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度教職員の人事異動の内申について</li> <li>・ 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則について</li> <li>・ 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規程の整備に関する規程について</li> <li>・ 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会告示の整備に関する告示について</li> </ul>
	<b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域外就学申請の承諾について</li> <li>・ 指定校変更許可申請の許可について</li> </ul>
	<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員定期異動辞令交付式について</li> </ul>

### 3. 令和元年度教育委員会の予算・決算状況について

令和元年度教育費(歳出)の当初予算額及び決算額等については、次のとおりです。

- ・教育費の当初予算額は8億3,672万9千円であり、町一般会計歳出予算に占める割合は10.1%となっています。(最終予算額は9億3,164万6千円)
- ・教育費の決算額は8億6,971万1千円であり、町一般会計決算額に占める割合は10.6%となっています。教育費最終予算額に対する執行率は、93.4%です。
- ・令和元年度の町民1人あたりの教育費は52,066円です。  
また、児童生徒1人あたりの教育費は、107,928円(小学校)、213,544円(中学校)です。

#### ○ 町当初予算に占める教育費の割合の推移

(千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
町予算総額	8,150,000	8,312,000	8,293,000
うち教育費	976,649	1,237,240	836,729
割合	12.0%	14.9%	10.1%

- ・平成30年度教育費は、南小中学校共用体育館の工事費等により町予算総額に占める割合が例年と比べ大きくなっています。

#### ○ 令和元年度教育費予算額

(千円)

項	当初予算額	補正予算額	繰越額	予算現額
教育総務費	271,251	89,909	3,780	364,940
小学校費	79,211	6,959	0	86,170
中学校費	99,891	△720	0	99,171
幼稚園費	17,134	1,678	0	18,812
社会教育費	214,346	6,328	0	220,674
保健体育費	154,896	△13,017	0	141,879
計	836,729	91,137	3,780	931,646

#### ○ 教育費決算額の推移

(千円)

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
教育総務費	468,091	52.53%	776,846	62.18%	350,495	40.30%
小学校費	71,197	7.99%	74,472	5.96%	75,442	8.67%
中学校費	85,284	9.57%	86,272	6.90%	87,126	10.02%
幼稚園費	18,963	2.13%	20,072	1.61%	18,047	2.08%
社会教育費	171,112	19.20%	229,411	18.36%	212,544	24.44%
保健体育費	76,412	8.58%	62,345	4.99%	126,057	14.49%
計	891,059	100.00%	1,249,418	100.00%	869,711	100.00%

○ 教育費執行率の推移

(千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算現額	989,223	1,310,534	931,646
決算額	891,059	1,249,418	869,711
執行率	90.1%	95.3%	93.4%

○ 令和元年度 町民1人あたりの教育費

人口(R2.3.31現在) (人)	教育費決算額 (千円)	町民1人あたりの教育費 (円)
16,704	869,711	52,066

○ 令和元年度 児童生徒1人あたりの教育費(小・中学校費)

(児童生徒数:R1.5.1現在)

	児童(小学校)	生徒(中学校)	計
児童生徒数(人)	699	408	1,107
決算額(千円)	75,442	87,126	162,568
1人あたり(円)	107,928	213,544	146,855

#### 4. 主な教育委員会の活動状況について

日 程	件 名	会 場
平成31年 4月 1日 (月)	教職員辞令交付式	大洗町中央公民館
平成31年 4月 9日 (火)	小学校入学式	大 洗 小 学 校
		南 小 学 校
平成31年 4月10日 (水)	中学校入学式	第 一 中 学 校
		南 中 学 校
	大洗町教育研究会総会	大洗文化センター
平成31年 4月11日 (木)	幼稚園入園式	祝 町 幼 稚 園
令和元年 5月16日 (木)	奨学生選考審議委員会	大 洗 町 役 場
令和元年 5月17日 (金)	大洗町青少年育成会議総会	大洗町中央公民館
令和元年 5月25日 (土)	小学校運動会	大 洗 小 学 校
		南 小 学 校
令和元年 5月27日 (月)	奨学生面接審査会	大 洗 町 役 場
令和元年 5月28日 (火)	茨城県市町村教育委員会連合会定期総会及び講演会	常 陸 太 田 市
令和元年 5月31日 (金)	関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会	山 梨 県
令和元年 6月 2日 (日)	第3回ひぬま夏海マラソン	大洗町総合運動公園
令和元年 6月 5日 (水)	奨学生承認書授与式	大 洗 町 役 場
令和元年 6月 7日 (金)	第1回教科用図書選定協議会	大洗文化センター
	東茨城郡教育委員会連絡協議会役員会	
令和元年 7月 2日 (火)	第2回教科用図書選定協議会	大洗文化センター
令和元年 7月 5日 (金)	第3回教科用図書選定協議会	大洗文化センター
令和元年 7月 9日 (火)	東茨城郡教育委員会連絡協議会総会及び研修会	大洗文化センター
令和元年 8月24日 (土)	第24回石井藤吉郎杯中学校野球大会	大洗町総合運動公園
令和元年 8月25日 (日)		

日 程	件 名	会 場
令和元年 9月 7日(土)	中学校体育祭	第 一 中 学 校
		南 中 学 校
令和元年 9月23日(月)	敬老会	大洗文化センター
令和元年 9月26日(木)	茨城県市町村教育委員会連合会第1回理事会	水 戸 市 総 合 教 育 研 究 所
令和元年10月 5日(土)	祝町幼稚園運動会	祝 町 幼 稚 園
令和元年10月 7日(月)	市町村教育委員会研究協議会	富 山 県
令和元年10月 8日(火)		
令和元年10月30日(水)	茨城県市町村教育委員会教育委員研修会	ホテルレイクビュー 水 戸
令和元年11月 6日(水)	東茨城郡教育委員会連絡協議会役員会	コミュニティセンター 城 里
令和元年11月 9日(土)	大洗町民の日記念の集い	大洗文化センター
令和元年11月15日(金)	小中連携実践発表会	大 洗 小 学 校
		第 一 中 学 校
令和元年11月23日(土)	教育実践研究発表会	南 小 学 校
		南 中 学 校
令和元年11月26日(火)	東茨城郡教育振興大会	城 里 町 役 場
令和元年12月 1日(日)	第74回 三浜駅伝競走大会	ひ たち な か 市
		大 洗 町
令和元年12月 4日(水)	教育委員訪問	祝 町 幼 稚 園
令和元年12月11日(水)	教育委員学校訪問	南 小 学 校
		南 中 学 校
令和元年12月17日(火)	奨学生選考審議委員会	大 洗 町 役 場
令和元年12月24日(火)	大洗町教育研究会講演会	大洗文化センター

日 程	件 名	会 場
令和2年 1月12日(日)	大洗町成人式	大洗文化センター
令和2年 1月19日(日)	大洗音楽祭2020	大洗文化センター
令和2年 1月22日(水)	教育委員学校訪問	大洗小学校
		第一中学校
令和2年 2月 2日(日)	第37回大洗マラソン サンビーチ・マイルレース	大洗サンビーチ
令和2年 2月19日(水)	茨城県市町村教育委員会連合会第2回理事会	水戸市役所
令和2年 2月25日(火)	大洗町善行賞授与式	大洗文化センター
令和2年 3月12日(木)	中学校卒業式	第一中学校
		南中学校
令和2年 3月18日(水)	祝町幼稚園卒園式	祝町幼稚園
令和2年 3月19日(木)	小学校卒業式	大洗小学校
		南小学校
令和2年 3月31日(火)	教職員定期異動辞令交付式	大洗町中央公民館



### 第3 教育委員会事務事業の点検・評価シート

基本的方針	No.	事業名	担当課	ページ
豊かな人間性をつちかう 教育の推進	1	「みんなにすすめたい一冊の本」事業	学校教育課	15
	2	芸術鑑賞の集い	生涯学習課	17
	3	町民会館自主事業(大洗音楽祭)	生涯学習課	19
	4	第7回特別展 武石堯絵画展 ～灯台とその風景、そして万葉奈良の寺院・仏像を描く～	生涯学習課	21
	5	大洗町幕末と明治の博物館 開館90周年記念 森の音楽会	生涯学習課	23
確かな学力を身に付ける 教育の推進	6	幼保小連携推進事業	学校教育課	25
健康な心と体を育てる 教育の推進	7	部活動指導員設置事業	学校教育課	27
	8	三浜駅伝競走大会	生涯学習課	29
	9	第74回国民体育大会開催推進事業	国体推進室	31
学校・地域・家庭の連携	10	高校生会	生涯学習課	33
社会の変化に対応した 学習機会の充実	11	外国語指導助手配置事業	学校教育課	35
	12	科学する心の育成支援事業	学校教育課	37
	13	磯浜古墳群国指定化事業	生涯学習課	39
質の高い教育環境の整備	14	若手教員育成事業	学校教育課	41

# 令和元年度 点検評価シート

No.1

事務事業名	「みんなにすすめたい一冊の本」事業	担当課	学校教育課
-------	-------------------	-----	-------

### 【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳・・・優しく)
	施策	3	就学前教育・学校教育の充実
根拠法令等	大洗町「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業実施要項		

### 【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	読書活動は、児童生徒が言葉を学び、感性を磨き、想像力や表現力を高めるなど、豊かな人間性を育むために重要な役割を果たしている。本事業は、児童生徒の読書意欲を喚起し、小中学校における読書活動の推進を図ることで、児童生徒の国語力の向上と豊かな人間性の育成を目的に実施する。
事業の対象 (誰を・何を)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大洗町立小学校に通う小学生 約700名</li> <li>・大洗町立中学校に通う中学生 約400名</li> </ul>
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>茨城県教育委員会主催の「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業を通し、児童生徒の読書意欲を喚起し、読書活動の推進を図る。具体的には、対象期間内に読んだ本の冊数に応じて、賞状を授与する。また、茨城県の表彰に加え、町独自の表彰を設け、低学年からの読書習慣の定着を目指している。</p> <p>※県教育長賞：年間50冊/小4から、年間30冊/中 県知事賞：3年間300冊/小4から、3年間150冊/中                  ※町教育長賞：年間30冊/小1から、年間15冊/中 町長賞：3年間150冊/小1から、3年間100冊/中</p>
事業の成果 (意図する成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や国語力の育成。</li> <li>・読書習慣の定着。</li> </ul>

### 【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	12千円	12千円	12千円	
	決算額(千円)	12千円	12千円	12千円	
	内訳	一般財源	12千円	12千円	12千円
		国県補助金	—	—	—
		その他	—	—	—
執行率(%)		100%	100%	100%	

### 【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	対象児童数	757名	726名	699名
	対象生徒数	437名	428名	408名
	計	1194名	1154名	1107名
成果指標	町教育長賞被表彰割合(小学生、中学生)	71.3%(98.4%、24.3%)	71.9%(98.3%、27.1%)	63.5%(92.7%、13.7%)
	県教育長賞被表彰割合(小学生、中学生)	49.8%(95.0%、8.0%)	51.1%(97.1%、10.0%)	44.5%(89.5%、4.6%)
	町長賞被表彰割合(小学生、中学生)	43.7%(67.7%、1.8%)	48.7%(75.3%、3.5%)	28.9%(45.7%、0.2%)
	県知事賞被表彰割合(小学生、中学生)	6.3%(11.9%、1.1%)	6.3%(12.1%、1.2%)	7.4%(15.7%、0.0%)
効率指標				

※成果指標は、被表彰人数/対象児童・生徒数

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		本事業では、対象期間に読んだ本の冊数に応じて表彰を行うことにより児童生徒の読書意欲を高め、読書活動の推進を図っている。また、町が実施主体となることで、県の事業では対象外となっている低学年の表彰が可能となり、低学年からの読書習慣の定着につながっていると考えられる。したがって、本事業の妥当性は高い。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	B	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		表彰を受ける児童生徒の割合は、近年増加傾向にあったが、令和元年度は減少の値を示している。しかし、小学生における県知事賞受賞率は上がっており、57名の児童が通算300冊を精読した。読書習慣のさらなる定着のため、引き続き読書量の増加に努める。		
<b>効率性</b> (コスト面からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		小中学校での読書には、学校図書館が活用されているため、必要最小限度のコストで事業を実施することができている。そのため、コスト面からみて本事業の効率性は非常に高い。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
<input checked="" type="checkbox"/>	改善のうえ継続
<input type="checkbox"/>	事業を拡大
<input type="checkbox"/>	事業を縮小
<input type="checkbox"/>	休廃止を検討
<input type="checkbox"/>	事業完了

⇒

改善案、廃止・休止案等
近年、中学生は部活動、小学生は英語の教科化などにより読書時間の確保が難しくなっている。そのため、小学生のうちに家庭での読書習慣を身につけることで、ひいては中学生の読書量増加へとつながるよう、様々なジャンルの図書が紹介されている県作成の「読書案内リーフレット」などを活用し、読書への興味を持つ機会を作るよう努めていく。

【評価委員の意見】

<p>○国語の力は、これからの社会を生きていくうえでも非常に重要な学力であり、読書週間の定着を目指す本事業は非常に高く評価できる。この事業の成果として、大洗町の子どもたちがたくさんの本を読んでいるということは素晴らしいことだと思う。今後さらにこの事業を充実させていただけたらと思う。課題としては、中学生になると読書量が減ってしまうことにどう対応するかを考えること、また読書の質をどう確保するかという視点をもつ必要があること、ではないかと思う。</p> <p>○読書習慣を定着させることは、豊かな人間性を育み、学習の基礎である国語力、とりわけ読解力を向上させる重要な課題であり、町独自の町長賞や教育長賞を設け意欲喚起につなげているこの事業は高く評価できる。学校では諸事情から読書時間の確保が難しくなっているが、短い時間の読書活動の積み重ねや教師の児童生徒一人一人へ寄り添ったきめ細かな読書指導により読書の楽しさを味わい、ひいては学ぶ力の育成につながると考える。</p>
---

令和元年度 点検評価シート

No.2

事務事業名	芸術鑑賞の集い	担当課	生涯学習課
-------	---------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳…優しく)
	施策	4	優れた芸術や文化に触れる機会の設定
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	目の前で繰り広げられる舞台芸術を鑑賞し、感動する心や物語を楽しむ喜びなどの情意面を育む。また、舞台芸術鑑賞を通して、鑑賞する態度を身につけるとともに文芸・芸術への関心を高めることを目的としている。
事業の対象 (誰を・何を)	幼稚園・保育園児、小学校1～4年生
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )  幼児・児童に文芸・芸術の本物を提供する考えのもと、毎年違ったものを選定している。 11月12日(火)に文化センター大ホールで、【サウンド ジャグラー・ジャズ オーケストラ】による「ジャズライブコンサート」を実施。
事業の成果 (意図する成果)	舞台芸術鑑賞の機会を提供することにより、児童の豊かな人間性を育成する。

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	1,285千円	1,285千円	1,288千円	
	決算額(千円)	1,276千円	1,276千円	1,274千円	
	内訳	一般財源	1,276千円	1,276千円	1,274千円
		国県補助金	—	—	—
		その他	—	—	—
執行率(%)		99.3%	99.3%	98.9%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	出演者・演奏者	30人	5人	15人
	演奏曲数	8曲	11曲	12曲
	実施回数	1回(午前・午後)	1回(午前・午後)	1回(午前・午後)
成果指標	参加者数	922人	888人	873人
効率指標	参加者1人当たりの単価	1,384円	1,437円	1,460円

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		日常的に舞台芸術に触れる機会が少ないことから、本格的な舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、芸術文化の魅力に触れることができるため妥当である。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、舞台芸術をより身近に感じてもらうことができた。また、文芸・芸術への関心を高めることで、児童にとって豊かな人間性を身につけるよい機会となっている。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		上記のような成果が見込まれ、参加者1人当たりの単価を見ても個人で観に行くよりも低価格で舞台芸術を鑑賞することができるため効率的である。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

○本事業は、幼児・児童の段階ですべての子どもたちが本物の芸術に触れるという事業であり、非常に高く評価できる事業である。幼いときから本物に触れることは、それからの人生に大きな影響を与えるはずである。大洗町にも、日常的には芸術活動に触れることの少ない子どもたちもいると思うが、それらの子どもたちも含めて全員が触れることができる事業で、是非このままの形で継続していただけたらと思う。

○柔らかな感受性をもつ幼児期から小学校中学年までを対象とし、安価に様々なジャンルの生の芸術に触れることのできるこの事業は、鑑賞者としての態度や礼儀なども体験することで学べるよい機会となっており高く評価できる。実施も11月と幼児、児童の心も体も充実する時期に合わせていることも効果的である。

令和元年度 点検評価シート

No.3

事務事業名	町民会館自主事業(大洗音楽祭)	担当課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳・・・優しく)
	施策	4	優れた芸術や文化に触れる機会の設定
根拠法令等	大洗町民会館の設置及び管理に関する条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	芸術文化音楽分野の発表を通して、世代や地域をこえた交流を実現し、音楽の素晴らしさを体感することで、芸術文化の振興を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	音楽分野に関心のある児童・生徒、高校生、一般の方
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>令和元年度は、1月19日(日)に大洗町内小学校金管バンド部・中学校吹奏学部・高等学校マーチングバンド部・声楽・合唱・機節など、地元大洗町出身の出演者を中心に世代をこえて、多様な音楽ジャンルの発表やセッション等を展開する。また、栃木県上三川町や群馬県榛東村などとの地域間交流を図る。</p>
事業の成果 (意図する成果)	次世代を担う児童生徒にとって、大洗町出身で音楽分野で活躍する先輩の技能を肌で感じ、良い影響を受けるサイクルが出来ている。また鑑賞面でも、広く町民の芸術文化に触れる最良の機会として、核となる事業に成長してきている。

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	1,653千円	1,641千円	1,708千円	
	決算額(千円)	1,603千円	1,592千円	1,545千円	
	内訳	一般財源	1,603千円	1,592千円	1,545千円
		国県補助金	—	—	—
		その他	—	—	—
執行率(%)		96.98%	97.01%	90.46%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	出演者数	400人	350人	400人
成果指標	入場者数	800人	800人	800人
	座席数	800席	800席	800席
効率指標	入館率	100%	100%	100%

【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<p>妥当性</p> <p>(実施主体・手段等は妥当か)</p>	A	<p>大洗町及び大洗町教育委員会が実施主体となり、舞台専門業者の知識と経験を活用しながら運営できており妥当である。また、今年度大洗町出身者が在籍することになった県立水戸工業高校ジャズバンド部に出演してもらうことで、より多様性に富んだ発表会となるとともに鑑賞者の増にも繋がった。</p>	
<p>成果</p> <p>(意図した成果が上がっているか)</p>	A	<p>音楽分野多ジャンルの発表・セッションを通じた世代間交流及び地域間交流は進んでおり、意図した成果は上っている。また、音楽の素晴らしさを体感する機会ともなった。聴衆も満館の状態であった。NHK水戸児童合唱団に出演してもらうことで、年齢の近い若年層に対し、良い刺激を与えることが出来た。</p>	
<p>効率性</p> <p>(コスト面等からみて効率的であるか)</p>	A	<p>大洗町出身の出演者が集まり、謝礼金など安価で済み、コスト面からみて効率的となっている。</p>	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	⇒	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了		

【評価委員の意見】

○演奏する側からすると、発表する機会を得ることは意味があるだろうし、また発表を聴く側からすると地元出身の先達の演奏を聴くことができることは刺激を受けることにもなり、高く評価できる事業である。今後も演奏する側と聴く側が一体となった事業として継続していただけたらと思う。

○町の音楽祭として子どもから大人までが一堂に会し、様々なジャンルの音楽に触れ合えるこの事業は高く評価できる。子どもたちにとっては未来への憧れと希望を抱く機会となり、出演者にとっては研鑽を積んでいる途上での励みになり、町民は大洗町のアーティストたちに誇らしささえ感じさせてくれる効果的な事業である。さらに、栃木県、群馬県2つの町からの子どもたちの発表による地域間交流は、大洗町ならではのアイディアであると考えられる。

令和元年度 点検評価シート

No.4

事務事業名	第7回特別展 武石堯絵画展 ～灯台とその風景、そして万葉奈良の寺院・仏像を描く～	担当課	生涯学習課
-------	---	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳・・・優しく)
	施策	4	優れた芸術や文化に触れる機会の設定
根拠法令等	博物館法、大洗町幕末と明治の博物館条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	令和元年(2019年)は茨城国体が開催され、全国から多くの人々が大洗町を訪れることもあり、地元大洗町在住の画家武石堯作品の展示を通して、郷土の画家の作品を鑑賞する機会を提供する。
事業の対象 (誰を・何を)	観光客、地域住民
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯台とその風景や万葉奈良の寺院・仏像などを描いた絵画作品、スケッチブック・道具類等を展示</li> <li>・画家が案内をする町内の中学2年生を対象にした見学会の実施</li> <li>・画家を講師に招いたギャラリートークの開催</li> </ul>
事業の成果 (意図する成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大洗町民をはじめとした来館者に、大洗で創作活動を行っている地元在住の画家やその作品を紹介し、鑑賞する機会を提供することができる。</li> <li>・画家によるギャラリートークを設けることで、作品をわかりやすく興味を持って鑑賞することができる。</li> </ul>

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	3,454千円	3,673千円	2,822千円	
	決算額(千円)	2,739千円	3,182千円	2,137千円	
	内訳	一般財源	2,739千円	—	—
		国県補助金	—	—	—
		その他	—	3,182千円	2,137千円
執行率(%)		79.2%	86.6%	75.7%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	会期日数	39日	39日	60日
	開館日数	34日	34日	50日
	関連講演会(ギャラリートーク)	1回	1回	2回
成果指標	会期中の入館者数(全体)	3,190人	3,662人	2,287人
	うち町民の入館者数	359人	340人	425人
	うち町民の小中学生の入場者数	22人	170人	145人
	会期中1日あたりの入場者数	81.7人	93.8人	38.1人
効率指標	来館者1人当たりの経費	858円	868円	934円



【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	地元在住画家の展覧会を開催することで、多くの人に郷土の作家やその創作活動を紹介できた。	
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	会期中は天候に恵まれない日も多く、台風やその影響で臨時休館する日もあったが、2,200名を超える入館者があり、町民の入館者も初めて400名を超える展覧会となった。	
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	地元画家が所有している作品で展示構成を行ったため、展覧会費用を抑えることができた。また、展覧会後に展示作品の一部を寄贈いただいた。	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続
<input type="checkbox"/>	改善のうえ継続
<input type="checkbox"/>	事業を拡大
<input type="checkbox"/>	事業を縮小
<input type="checkbox"/>	休廃止を検討
<input type="checkbox"/>	事業完了

⇒

改善案、廃止・休止案等

【評価委員の意見】

○大洗町在住の画家の展示を行う事業として、町民の郷土性を育む事業としてとてもいい評価できる事業だと思う。425名の町民の入館、145名の町民の小中学生の入館があり、たくさんの町民の入館を得られたことは高く評価できる。町民以外の入館者の増加が課題として残っていると思うが、今後はそうした課題を踏まえて事業を展開していただけたらと思う。

○町の博物館において、大洗町に在住する画家・武石堯氏の作品展と画家を講師としたギャラリートークを開催したこの事業は、町民425人を含む2,200名を超える入館者数からも評価できる。今後も、親しみやすい博物館として、より多くの人に足を運んでもらえるような魅力ある事業内容や展示方法をさらにご検討いただきたい。

令和元年度 点検評価シート

No.5

事務事業名	大洗町幕末と明治の博物館 開館90周年記念 森の音楽会	担当課	生涯学習課
-------	-----------------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳・・・優しく)
	施策	4	優れた芸術や文化に触れる機会の設定
根拠法令等	博物館法、大洗町幕末と明治の博物館条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	にぎわいのある博物館活動を推進するため、天皇陛下の即位に伴い制定された新元号決定と幕末と明治の博物館開館90周年を記念し、ミュージアムコンサートを開催する。
事業の対象 (誰を・何を)	地域住民、芸術文化に興味のある一般の方
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏者(オカリナ・ピアノ)を招き、博物館敷地内松林にて昼食やコーヒー、お土産等の提供を含めた演奏会を開催する。(参加した方は博物館に無料で来館可能)</li> <li>・食事の提供を含めた屋外の演奏会の為、事前予約制(200人まで)・有料(参加費2,000円)にて行う。</li> </ul>
事業の成果 (意図する成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサートを契機として、博物館活動への関心を高めることができる。</li> <li>・明治時代の洋食をイメージした食事や將軍コーヒーの提供など、幕末や明治時代にちなんだストーリーのある演出をすることで幕末や明治期に対する興味関心を持つことができる。</li> <li>・「森林浴の森 日本100選」にもなっている博物館敷地内松林を有効活用する。</li> </ul>

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	330千円	349千円	491千円	
	決算額(千円)	330千円	349千円	491千円	
	内訳	一般財源	—	—	—
		国県補助金	—	—	—
		その他	330千円	349千円	491千円
執行率(%)		100%	100%	100%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	演奏者数	3人	3人	2人
	演奏曲数	15曲	11曲	21曲
成果指標	参加者数	157人	144人	204人
	うち町内の参加者数	57人	126人	122人
	満足度(良かった、大変良かった)	100%	98%	99%
効率指標	参加者1人当たりの経費	2,101円	2,424円	2,406円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	博物館敷地内をコンサート会場としていることで、博物館に来館してもらうことができ、博物館活動に対する認知度を高めることができています。	
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	コンサートをきっかけとして初めて博物館を訪れた参加者もあり、普段は博物館活動に関心の低い層にも興味関心を持ってもらうための一助となっている。また初めての野外での開催であったが、参加者から再度の開催を求める好意的な要望や意見が多く寄せられた。	
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	今回の参加費は2,000円としたが、参加費は食事類の提供や土産代として使われている。内容を変えたことで、参加費を徴収することとしたが、それと同時に野外用音響設備などを考慮しなければならなくなり、室内開催より予算がかかることとなった。しかし、野外にしたことで参加人数を増やすことができたため、一人当たりの経費を前回とほぼ同程度に抑えることができた。	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

○森林浴のできる野外において食事をとりながら演奏を聴くという事業はとても素敵で高く評価できる。野外演奏会というのも素敵だと思う。また博物館を身近に感じるためにも、とてもよい事業である。野外で演奏会を開くということはいろいろ大変だろうが、是非今後も継続していただけたらと思う。

○大洗町幕末と明治の博物館の開館90周年記念事業として実施された自然の中での音楽コンサートは、音響効果が万全でないにもかかわらず松林の中にオカリナと電子ピアノの音が爽やかに響き渡り、200余名の参加者を得たことから評価できる。また、明治時代をイメージした食事や飲み物やお土産などに多くの方々のご協力を受けられたことは、博物館の成り立ちを町外の方にもご理解いただくのに有効であった。

令和元年度 点検評価シート

No.6

事務事業名	幼保小連携推進事業	担当課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	2	確かな学力の習得と活用する力の育成(知…賢く)
	施策	2	就学前教育の充実
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	幼児教育・小学校教育に携わる関係機関が緊密な連携を図り、相互の理解及び情報の共有化を進め、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指す。
事業の対象 (誰を・何を)	保育所(園)、幼稚園、小学校の長及び担当者、行政機関の関係職員
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>幼児保育・小学校教育連絡協議会を年2回開催し、県から招いた講師および社会教育主事による講話や各園での取り組み、入学にあたっての諸準備、小学校での新入学児の様子等の情報共有を行う。</p>
事業の成果 (意図する成果)	保育所(園)・幼稚園・小学校間で情報共有や意見交換を行うことにより、それぞれの現場の相互理解や課題解決のための協議をすることが可能となり、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図ることができる。

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	-	-	-	
	決算額(千円)	-	-	-	
	内訳	一般財源	-	-	-
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
執行率(%)		-	-	-	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	協議会	2回	2回	2回
成果指標	協議会参加率 (参加施設/対象施設)	91.7%	100%	100%
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<p>妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)</p>	A	<p>年2回の協議会を通じ、保育所(園)・幼稚園・小学校が情報共有や意見交換をすることで、それぞれが相互理解したり課題について協議したりすることは、幼児教育と小学校教育の円滑な接続のために重要であるため、本事業の妥当性は非常に高い。</p>	
<p>成果 (意図した成果が上がっているか)</p>	A	<p>協議会での情報交換を通じ、入学までの諸準備を統一し相互参観を推進することができた。 また、町の接続カリキュラムの作成を通じ、意見交換することで幼児期の終わりまでに育ってほしい姿やそれぞれの立場の希望や課題について共通認識を持つことができた。</p>	
<p>効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)</p>	A	<p>町内保育所(園)・幼稚園・小学校の協力や、町社会教育主事を講師とすることにより、予算をかけずに事業を実施することができている。</p>	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	

【評価委員の意見】

○これからの教育にとって幼保小連携は非常に重要な事業であり評価できる。ただ連携はときに形式的な連携に陥る危険性があり、本事業における幼保小連携は率直な意見交換及び連絡協議会を日常的な交流につなげていくことが大切だと思う。行っていることに安住せず是非今後ますます連携の実質化に向けてさらなる改善の可能性を探ってほしい。

○小学校への入学に際して、親も教師も今まで育ててきたものやその子のもっている力をもっと伸ばしてあげたい願いと、「学校」という大きな段差への不安をいただいてもいる。保育所(園)、幼稚園、小学校、教育委員会が、町として作成した幼児教育と小学校教育をつなぐ接続カリキュラムのもと、町の教育者が育ちへの共通認識をもって協議し合い、学びをつなげていく本事業は高く評価できる。幼児教育と小学校教育を円滑に接続するためのこうした地道な取り組みとその充実、接続期以降の中学校、高等学校での学びを豊かにすることにつながるものと考えます。

令和元年度 点検評価シート

No.7

事務事業名	部活動指導員設置事業	担当課	学校教育課
-------	------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	3	健康な心と体を育てる教育の推進(体・情…たくましく)
	施策	2	体力の向上と学校体育活動の推進
根拠法令等	学校教育法施行規則(昭和22年省令第11号)第78条の2		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	多様化・複雑化する生徒のスポーツニーズに即した運動部活動指導体制を整え、運動部活動の円滑な運営を図りたくましい心と体をもった本町の生徒を育成するとともに、教員の「働き方改革」の実現を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	大洗町立中学校
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/> 町 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>当該部活動の専門的知識・技術指導に堪能である者、指導員としてふさわしい人格を有していると判断した者を教育委員会が任用する。指導員は、技術指導や安全・障害予防に関する知識・技能の指導、学校外での活動(大会・練習試合等)の引率、部活動の管理運営等を行う。指導員の勤務時間は1人につき年210時間以内とし、部活動の指導に係る時間は必ず単独で行わなければならない。</p>
事業の成果 (意図する成果)	専門的知識・技能をもつ指導員の部活動指導により、生徒の技術向上を図ることができる。指導員が部活動指導をすることにより、顧問はその時間を学年・学級事務に充てることことができる。

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	-	672千円	672千円	
	決算額(千円)	-	336千円	336千円	
	内訳	一般財源	-	112千円	112千円
		国県補助金	-	224千円	224千円
		その他	-	-	-
執行率(%)	-	50%	50%		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	1人当たり勤務時間上限	-	210時間	210時間
成果指標	設置人数	-	1人	1人
	設置部活動	-	剣道部	剣道部
	勤務時間	-	210時間	210時間
効率指標	部員1人当たりの経費(決算額/部員数)	-	21千円(部員16人)	28千円(部員12人)

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		校長の監督のもと、信用失墜行為の禁止や守秘義務を負い、専門的知識・技術指導に堪能であるとともに、責任ある立場として設置することで、学校、生徒の信頼を得ながら単独で部活動の指導にあたる事ができている。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		指導員の部活動指導により、顧問はその時間を学年・学級事務に充てることができた。これが、学年全体、学校全体の負担軽減につながり、教員の「働き方改革」の実現に近づけることができた。部活動指導員が大会の引率を行ったことも、顧問の負担軽減につながった。また、専門的な視点から部員一人一人の実態を把握し、具体的なアドバイスを行ってきたことが、生徒の意欲向上・技術向上につながった。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		本事業は、文部科学省の教育支援体制整備事業費補助金を活用して実施しているため、低コストのうえ成果が大きく効率的である。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続
<input type="checkbox"/>	改善のうえ継続
<input type="checkbox"/>	事業を拡大
<input type="checkbox"/>	事業を縮小
<input type="checkbox"/>	休廃止を検討
<input type="checkbox"/>	事業完了

⇒

改善案、廃止・休止案等

【評価委員の意見】

○子どもたちの技量向上はもちろんのこと、働き方改革に対応して教員負担を減らす点からも非常に重要な事業であり、非常に高く評価できる。学校現場における教員の負担は看過できないほど大きくなっているからである。現実に責任を負える指導員をつけることで、学校全体の業務の軽量化につながるという成果があがっていることも評価できる点である。予算がかかる事業で困難はあると思うが、今後は継続することはもちろん事業の拡大に向けて努力をしていただけたらと思う。

○部活動の指導には、専門的な知識や技能、指導力が求められるが、応えきれず忸怩たる思いをいただいている顧問も少なくない。今、教師の事務量は増す一方であり、教師の情熱のみでは負いきれないことも多々ある中、文部科学省の事業補助金を利用しての本事業は、生徒の意欲や求める技能、知識に応えることができ、また教師の働き方改革につながるモデル事業としても高く評価できる。まだ一つの部での実施であるので、人材の発掘や招聘などの対策を是非検討していただきたい。

令和元年度 点検評価シート

No.8

事務事業名	三浜駅伝競走大会	担当課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	3	健康な心と体を育てる教育の推進(体・情・・・たくましく)
	施策	2	体力の向上と学校体育活動の推進
根拠法令等	スポーツ基本法		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	昭和22年に第1回が開催されて以来、令和元年の大会で74回開催している歴史と伝統のある大会を開催しスポーツの振興及び地域の活性化を図る。また、競技を通して青少年の体力向上並びに団結・友愛の精神を養うことを目的とする。
事業の対象 (誰を・何を)	中学男子の部(7区間 20km) 高校男子の部(6区間 33.9km) 一般男子の部 1部・2部(7区間 33.9km) 中学女子の部(7区間 13.4km) 高校女子の部(5区間 20km) 一般女子の部(5区間 20km)
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 □町 □委託 □補助金 ■その他 (ひたちなか市・大洗町の共催事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひたちなか市と大洗町の2市町の主催による駅伝大会で、大洗町では大洗海岸駐車場(アクアワールド大洗脇)の大洗中継所・文化センター東側駐車場付近の文化センター中継所の2中継所の運営と大洗走路区を担当している。</li> <li>・水戸警察署・交通安全協会・スポーツ推進委員・体育協会・高校生会・町職員等、約300名に協力をいただきながら実施している。</li> <li>・参加チームの募集や記録の集計、開閉会式については、ひたちなか市事務局で対応している。</li> <li>・74回大会では、高校・一般男子の部のコースを一部変更して実施。これまでの漁港周辺の混雑状況と駅前海岸線が整備されたことにより、大洗の新しいメイン通りである「きらめき通り」を走って折返してくるコースとした。</li> </ul>
事業の成果 (意図する成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの振興(陸上愛好者・中高校生運動部等に競技参加の機会を提供し、体力・競技力の向上を図る)</li> <li>・青少年の健全育成(中高校生の参加により、心身の向上並びに団結・友愛の精神を養う)</li> <li>・地域の活性化(町内外からの参加者を受け入れ、応援・支援することで地域活性化に繋げる)</li> </ul>

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	800千円	800千円	900千円	
	決算額(千円)	800千円	800千円	900千円	
	内訳	一般財源	800千円	800千円	900千円
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
執行率(%)		100%	100%	100%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	参加申込チーム数	186チーム	177チーム	161チーム
成果指標	中学男女参加チーム数(町内)	男51(10)、女39(5)	男49(10)、女44(7)	男48(8)、女34(6)
	町内中学生最高順位	男:13位、女19位	男:16位、女8位	男:5位、女17位
	県外参加参加チーム数	7チーム	8チーム	6チーム
効率指標	町負担金/登録者数	716円	759円	928円



【自己評価】

評価項目	評価結果			
<p>妥当性</p> <p>(実施主体・手段等は妥当か)</p>	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		<p>74回を数える伝統があり、選手・関係者と地域に根付いた大会となっている。</p> <p>那珂湊・平磯・大洗の三つの浜をつなぐコースは、雄大な太平洋に面した美しいコースとして評価されており、警察署を始め関係機関の協力・スタッフの努力により安全に運営されている。</p> <p>今後もひたちなか市と協力し、参加者及びスタッフの意見を集約し、反省点や改善点を踏まえながら検討していき、伝統ある本大会を継続して開催していけるよう取組んで行く。</p>		
<p>成果</p> <p>(意図した成果が上がっているか)</p>	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		<p>選手は大会を目標に日頃から練習に励み、スポーツの振興・体力の向上が図られている。また、中高校生にとっても大会参加は大きな励みになっており、駅伝特有のチームワークや団結力が培われている。特に、地元中学校においては、部活動単位で、それぞれの目標を掲げて参加をしており、日々、仲間との絆を深めながらの練習に励み、順位だけではなく成果があると感じている。</p> <p>高校・一般男子のコースを一部変更し「きらめき通り」に変えたことで、沿道から声援を送ってくれている方々も多く見受けられ、より地域の方々の認知度が向上したように感じている。</p>		
<p>効率性</p> <p>(コスト面等からみて効率的であるか)</p>	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		<p>警察署や交通安全協会の協力並びにボランティアスタッフの尽力により、充実した大会を安全に運営することが出来ている。</p>		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続
<input type="checkbox"/>	改善のうえ継続
<input type="checkbox"/>	事業を拡大
<input type="checkbox"/>	事業を縮小
<input type="checkbox"/>	休廃止を検討
<input type="checkbox"/>	事業完了

⇒

改善案、廃止・休止案等

【評価委員の意見】

<p>○伝統ある事業であり、しかもひたちなか市との共催事業として地域の協力によって成り立っている事業であり、非常に高く評価できる。実施継続に様々な困難はあると思うが、是非継続させてほしい事業である。今後ますます県外からの参加を呼びかけ、活気ある事業として継続していただけたらと思う。</p> <p>○那珂湊・平磯・大洗をつなぐ歴史と伝統あるこの事業を、ひたちなか市と協力しあって開催し、町外、県外の参加者も受け入れながら地域の活性化にも寄与している。第74回は、一部新しい大洗の姿を表す「きらめき通り」を走るコースに変更するなど、きらりと光る大洗らしいアイデアが盛り込まれ、スポーツ振興だけでなく町おこしとしてもこの事業を高く評価する。</p>
--

令和元年度 点検評価シート

No.9

事務事業名	第74回国民体育大会開催推進事業	担当課	国体推進室
-------	------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	3	健康な心と体を育てる教育の推進(体・情・・・たくましく)
	施策	2	体力の向上と学校教育活動の推進
根拠法令等	スポーツ基本法(平成23年8月24日施行)第26条(国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会)		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	45年ぶりに茨城県で開催される「第74回国民体育大会・いきいき茨城ゆめ国体」大洗町開催競技の成功のため。
事業の対象 (誰を・何を)	各種関係機関・団体及び全町民
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 ■ その他(実行委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町、議会、各種機関・団体等の参画による実行委員会において事業を推進する。また、実行委員会内に専門委員会を設置して計画・要項など具体的な検討を行う。</li> <li>・役場内に庁内推進本部・実施本部を組織して実質的な運営を行う。</li> <li>・茨城県や競技団体と十分に連携・調整を行い、円滑な運営が図れるよう取り組む。</li> <li>・花いっぱい運動や町内掲示物(のぼり旗、横断幕等)の設置・各種イベント等への参加・SNSの活用などを行い広報PRを推進し、町民に対しても、おもてなしや参加意識の向上を図り、大会機運の醸成に努める。また、協賛企業や協賛団体の募集を行い、広報活動の推進を図る。</li> <li>・炬火イベントとして採火式・集火式を行い、国体開催前の機運醸成を図るとともに、本番においては学校応援・町民応援企画を実施し、会場の盛り上がりを図っていく。</li> <li>・運営・広報ボランティアの募集、登録者への研修を実施し本番を迎える。</li> </ul>
事業の成果 (意図する成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大洗町開催競技を円滑に実施運営する。</li> <li>・全国から来県・来町される選手や関係者をはじめとするたくさんの方々をおもてなしの心で温かくお迎えし、大洗町の魅力を感じていただくとともに、町民にも様々な形で大会に参加していただき思い出に残る大会とする。</li> </ul>

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	24,927千円	17,378千円	91,975千円	
	決算額(千円)	23,570千円	17,060千円	79,590千円	
	内訳	一般財源	23,570千円	11,270千円	51,790千円
		国県補助金	—	790千円	23,800千円
		その他	—	5,000千円	4,000千円
執行率(%)		94.6%	98.2%	86.5%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	実行委員会総会の開催	6月19日	5月31日	4月11日、2月28日
	各専門委員会の開催	各2回(11月、2月)	12月5、6日	7月4日
	庁内推進(実施)本部会議の開催	12月20日	12月27日	4月25日、8月29日
	ビーチバレー大会の実施	—	7月29日(リハ大会)	9月13日～16日
	ゴルフ大会の実施	—	9月4日(リハ大会)	9月29日～10月1日
成果指標	花いっぱい運動 花苗の配付数	15団体	33団体・23個人	53団体・65個人
	マスコットキャラクター・いばラッキーの活用	16回	22回	11回
	町内宿泊者数(関係者)	—	—	1,439人
	観覧者数	—	—	9,687人
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		各種関係機関・団体及び町職員で構成される4つの専門委員会(総務企画・競技式典・宿泊衛生・輸送交通)において、各計画・要項等について審議・策定し、実施に導いた。茨城県・近隣市町村・同種目開催の笠間市と連携・調整を図り、茨城国体を成功に導くよう努めた。競技団体・大会会場施設と連携し、これまでの視察・実施したりハーサル大会を通じて綿密な協議を行い大会に備えた。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		花いっぱい運動では既存の8花壇整備団体の他、45団体・65個人の協力を得て町内全域で展開をすることができ、来町者へのおもてなしを図ることができた。町内園児・児童生徒による「メッセージカード」や「手作り応援のぼり旗」の作成など、町民参加の機会創出と機運醸成を図ることができたとともに、選手達の思い出の一つを演出することができた。本番では、学校応援・町民応援企画を実施し、多くの町民に会場に足を運んでいただき、盛り上がりを作ることができた。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		広報PRについては、コストがかからないSNSやHPを積極的に活用して効果的な展開ができた。運営ボランティアには124名の協力が得られ、延べにすると322名の方に幅広い業務において活動いただくことができた。協賛については、20の企業・団体から金額にすると2,500千円相当を得ることができ、広報PR等に活用させていただいた。本番直前の台風による影響から会場再整備をする際に、会場関係者・行政機関みんなで強固に協力することができた。「誰もが主役！最高の思い出を大洗で」を達成することができた。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
<input type="checkbox"/>	改善のうえ継続
<input type="checkbox"/>	事業を拡大
<input type="checkbox"/>	事業を縮小
<input type="checkbox"/>	休廃止を検討
<input checked="" type="checkbox"/>	事業完了

⇒

改善案、廃止・休止案等

【評価委員の意見】

○大変な事業であり、台風の影響なども受ける中での実施だったが、大洗町らしく実施できたのは素晴らしかったと思う。ボランティアの活用や花いっぱい運動などおもてなしの精神で実施できたこと、広報において経費を節約しながらSNSやHPを活用することによって効果を上げることができたことなど、訪れる人たちを意識した運営ができたことは非常に高く評価できる。

○SNSやHPを大いに活用した広報活動は、酷暑にもかかわらず暑い砂浜で熱心に声援を送る大勢の観戦者や募集以上の運営ボランティアの応募者数の多さにその効果が表れており、町を挙げてのおもてなしの心が「メッセージカード」や「手作りのぼり旗」「プリンターの花々」などの形にされて気持ちよく選手や関係者を迎えられた。そして町民の観光立町・大洗の意識に反映されたことは高く評価できる。地域が丸となった事業は完了したが、これを機に来町者を温かく迎えるおもてなしの心を、今後も波及させていっていただきたい。

令和元年度 点検評価シート

No.10

事務事業名	高校生会	担当課	生涯学習課
-------	------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	4	学校・家庭・地域の連携
	施策	1	学校・家庭・地域が連携した教育の推進
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	会員の自発的な活動により、会員相互の親睦を図りながら、広く学生生活を有意義にし、子ども会を含む児童・生徒の育成活動の支援と地域の発展のために寄与することを目的にしている。
事業の対象 (誰を・何を)	高校生会員23名
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>様々な事業に参加・協力し、児童生徒や地域の方々など異世代との交流実施                  ①クリーンアップ大洗 ②こどもの日わくわくフェスタ ③こどもふれあいひろば ④高校生議会 ⑤北海道洋上体験学習 ⑥保育園体験活動 ⑦海っ子山っ子体験交流事業 ⑧八朔祭こども神輿 ⑨那須町との交流 ⑩茨城国体ボランティア ⑪公民館講座 ⑫三浜駅伝 ⑬社会福祉協議会クリスマス会 ⑭成人式 ⑮大洗マイルレース                  ※ 自主事業(④高校生議会、⑥保育園体験活動、⑨那須町との交流、⑪公民館講座)</p>
事業の成果 (意図する成果)	高校生会の自主事業、町主催事業への協力等による会員相互の交流及び児童生徒や地域の方々との交流により、様々な体験を通して必要な知識・技術の研究を行うなど、次世代を担うリーダーを育成する。

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	300千円	300千円	300千円	
	決算額(千円)	300千円	300千円	300千円	
	内訳	一般財源	300千円	300千円	300千円
		国県補助金	—	—	—
		その他	—	—	—
執行率(%)	100%	100%	100%		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	高校生会員	26名	32名	23名
	年間活動数	33回	33回	23回
成果指標	年間活動延べ参加人数	約480人	約520人	約350人
効率指標	決算額/会員数	11,538円	9,375円	13,043円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<p>妥当性</p> <p>(実施主体・手段等は妥当か)</p>	A	<p>事業計画・収支予算・役員については、総会において決定している。町事業への協力は事務局と連携を図り、また自主事業は高校生自らが企画立案を行い活動している。</p>	
<p>成果</p> <p>(意図した成果が上がっているか)</p>	A	<p>自主事業や町主催事業へ参加・協力し、異世代との交流を通じて、自主性や協調性を育むことで、次世代のリーダーとなる人材育成に繋がっている。また、責任感ある行動を通して児童の目標となり、高校生会の存続を図ることができている。</p>	
<p>効率性</p> <p>(コスト面等からみて効率的であるか)</p>	A	<p>高校生会の活動を支援することにより、次世代のリーダー育成に繋がっており、また町事業にも積極的に参加・協力をいただいております。効率的である。</p>	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

○本事業は、地域の若者が主体的に地域の様々な事業を企画・協力していく事業であり、郷土性の育成や地域を支えるリーダーの育成という視点からも高く評価できる事業である。高校生会員の数、および年間活動数が減っている点についてであるが、忙しい時代であり、事業を高水準で維持していくことには様々な困難があるだろうが、是非継続すると同時に、より事業を充実させていただけたらと思う。

○この会は、町の様々な事業に携わっており、若い力の存在は頼もしく感じる。小・中学生にとってはとても身近な将来のモデル像として町の青少年健全育成の一翼を担っていることからこの事業を高く評価する。在籍するそれぞれの学校や個人の事情がある上に、自主事業も多く大変であると思うが、様々な研修への参加や企画・運営などの体験を通して、大洗町の人間性豊かな若手人材の育成につなげていただきたい。

令和元年度 点検評価シート

No.11

事務事業名	外国語指導助手配置事業	担当課	学校教育課
-------	-------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	5	社会の変化に対応した教育の充実
	施策	3	伝統や文化を尊重し国際性を育む教育の推進
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	各小中学校にALTを配置し、児童生徒が授業や日常の中で外国語や外国の文化を学ぶことができるような環境を整え、英語教育を充実させることで、児童生徒の英語能力の向上を目指す。
事業の対象 (誰を・何を)	大洗町立小学校 2校、大洗町立中学校 2校
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により招致したALT4名を各小中学校に配置する。各校において担当教員と打ち合わせを行い、効果的な授業を展開できるよう努めている。 また、英語の発音や会話の例を授業において示したり、教職員に対して情報を提供したりすることで、外国語活動・授業を行う日本人教職員を補助・支援する。</p>
事業の成果 (意図する成果)	<p>ALTとの交流を通し、日常的に外国語や外国の文化にふれることで、児童生徒の外国語や外国の文化への興味・関心が高まり、親しみを持って学習することができる。</p> <p>また、各校にALTが常駐していることで、教職員とのコミュニケーションも円滑に行うことが可能となり、効果的な授業を行うことができるようになる。</p>

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	18,991千円	20,067千円	20,044千円	
	決算額(千円)	17,569千円	18,676千円	18,287千円	
	内訳	一般財源	3,001千円	3,628千円	3,224千円
		国県補助金	14,568千円	15,048千円	15,063千円
		その他	—	—	—
執行率(%)		92.5%	93.1%	91.2%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	ALT配置人数	4人	4人	4人
成果指標	教育活動評価アンケートにおける保護者満足度(肯定的回答)	96.1%	95.0%	90.6%
効率指標	決算額/児童生徒数	14,714円	16,198円	16,519円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<p>妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)</p>	A	<p>各小中学校に1人ALTを配置することで、教員や児童生徒とのコミュニケーションが円滑になり、児童生徒が外国語や外国の文化を身近なものに感じることができる。 また、打ち合わせを行ったうえで必要なすべての授業を行うため、教職員の負担を軽減し、効果的な授業展開を支援することができる。</p>	
<p>成果 (意図した成果が上がっているか)</p>	A	<p>保護者へのアンケート調査では、3年連続で肯定的回答が90%を超えており、ALTがいることで児童生徒が楽しく外国語の学習に取り組むことができ、また役立っていると感じている保護者が多いことがわかる。 このことから、ALTを各校に配置していることで魅力的な授業を行うことができ、児童生徒の英語学習に貢献していると考えられる。</p>	
<p>効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)</p>	B	<p>JETプログラムを活用し町が直接雇用を行うことで、柔軟な対応が可能となり、授業以外の時間や行事等で児童生徒・教職員とコミュニケーションをとることができている。 コスト面をみると、民間事業者に委託した場合と比べてやや高くなる場合もあるが、ALTの活用という面では、柔軟な対応が可能な直接雇用の形態は効果的であると考えられる。</p>	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒
This row is empty as per the image	

【評価委員の意見】

○外国語指導助手を大洗町が独自に配置し、常駐させていることは高く評価できる。常駐していることで子どもたちと外国語指導助手の方が日常的にかかわることが可能になり、外国語や外国文化に親しみをもつことに大きく寄与できるようになるだろう。国際化にも効果のある事業である。現在も町の行事への参加やインタラクティブフォーラムなど様々な活用が行われてるようだが、さらなる活用の工夫がなされるといいのではないかなと思う。

○大洗町は様々な外国籍の方が住んでおり、互いに異なる文化を理解し合い認め合って生活することは必須である。そのような地域環境にある中、小学校において英語が教科化された。児童の実態に沿った1単位時間の授業を構築するには、細かな打合せが何度も必要となる。本町の小・中学校4校にそれぞれ1名のALTが配置されており、いつでも担任とALTが相談し合えるということは、本町教育の英語教育の質を高めるとともに、学校の働き方改革にもつながる大変時宜を得た事業と高く評価する。

令和元年度 点検評価シート

No.12

事務事業名	科学する心の育成支援事業	担当課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	5	社会の変化に対応した教育の充実
	施策	2	科学技術教育の推進
根拠法令等	原子力・エネルギーに関する教育支援事業交付金規則		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	大洗わくわく科学館における原子力・エネルギー関連の科学実験及び自分たちの住む大洗町にある原子力研究施設の見学を通して、電気とエネルギーの重要性を再認識するとともに、児童生徒の原子力・エネルギーや科学技術への興味・関心を高める。
事業の対象 (誰を・何を)	(1) 大洗わくわく科学館連携教育事業……小学校2・3・4学年、中学校2学年の全児童生徒 (2) 科学する心育成事業……小学校5学年、中学校2学年の全児童生徒
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )  (1) 大洗わくわく科学館連携教育事業では、放射線や水素、静電気などのエネルギーに関するテーマについて、科学館のスタッフが児童生徒に授業を行う。小・中学校ともに学級単位で授業を実施する。小学校は科学館へ移動し、中学校では科学館のスタッフが学校を訪問する形で授業を行う。 (2) 科学する心育成事業では、学級単位で貸切バスを利用して大洗町内にある原子力施設JAEAを訪問し、高速増殖実験炉や防災施設の見学、訓練用シミュレーターの体験学習などを行う。
事業の成果 (意図する成果)	①大洗わくわく科学館での理科授業では、アルミホイルやストロー、発泡スチロールなど、日用品を材料とした実験工作を行う。理科授業を通して、日常の中に科学的な視点を持つことができる。また小学2年生への授業に関しては「生活科」から小学3年生の「理科」への橋渡し学習の面も担う。 ②原子力施設の見学を通して、世界最先端の科学技術開発の一端に触れるとともに、原子力が大洗町の大きな特色であることを捉えることに役立つ。

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	866千円	904千円	920千円	
	決算額(千円)	809千円	754千円	681千円	
	内訳	一般財源	—	—	—
		国県補助金	809千円	754千円	681千円
		その他	—	—	—
執行率(%)	93.5%	83.4%	74.0%		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	対象児童生徒数	649人	633人	589人
	参加児童生徒数	638人	625人	567人
成果指標	参加率	98.30%	98.73%	96.26%
効率指標	決算額/参加児童生徒数	1,268円	1,206円	1,201円



【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		今日の課題となっている児童生徒の理科離れに対応した理科教育の在り方を検討した際、まずは児童生徒の知的好奇心や学ぶ意欲を高めることが重要である考えられる。大洗わくわく科学館との連携による理科授業や町内にある原子力関連施設の見学・体験学習は、原子力やエネルギーについての知識を学ぶだけでなく、科学への興味・関心を芽生えさせる上で有効であり、妥当性は非常に高い。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		観察や実験等を通じて児童生徒の科学への興味・関心をもたせていることや、その上で児童生徒の知的好奇心を高めていること、また日常の中に科学的な視点を持つことができていることなどの成果が見られる。さらには原子力施設見学を通じ、世界最先端の科学技術開発が大洗町で行われていることを知り、郷土に対する誇りをもつことができている。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		大洗わくわく科学館との連携による理科授業や原子力関連施設の見学に伴う貸し切りバスの借り上げの費用などは、全国「原子力・エネルギーに関する教育支援事業交付金」で賄われており、国の補助を有効に活用した事業が実施できている。また、連携による理科授業では、大洗わくわく科学館のスタッフによる専門的で児童生徒の科学への興味・関心を高める内容の濃い指導協力が得られており、さらに原子力施設見学では、世界の最先端の研究が行われている場所に足を踏み入れられるという大洗町ならではの特質を生かした効率性が高い事業となっている。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

○この事業は、施設見学をとおして原子力施設のある大洗町を理解すること、そして今日強く求められるようになってきている科学的思考や科学へのあこがれを育む場が用意されていること、そして多くの児童生徒が参加できる事業となっていることなど、非常に高く評価できる事業である。今後とも工夫しながら継続していただけたらと思う。

○理解離れは、論理的な理解が学年を追うごとに多くなり、“理解できない”、“楽しくない”、教科になってしまっているからだともいわれている。そのような中、大洗町の豊かな専門知識をもつ人材やわくわく科学館等の施設を活用して、知的好奇心が旺盛な小学校2・3・4年生が、科学のなぜ？あつ、そうか！だったら…とわくわくどきどきしながら科学する楽しさを味わい、中学生は実験、体験を通してわかりやすく理論を学び、自分で課題を見つけて工夫する理科の学び方を学べるこの事業は高く評価できる。

令和元年度 点検評価シート

No.13

事務事業名	磯浜古墳群国指定化事業	担当課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	社会の変化に対応した教育の充実
	施策	3	伝統や文化を尊重し国際性を育む教育の推進
根拠法令等	文化財保護法、町文化財保護条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	地域の資源を活用しながら、わが国の歴史文化に対する理解を深める学習を推進する。ふるさとに誇りがもてるよう、ふるさと大洗の歴史や風土などに関する教育を充実する。
事業の対象 (誰を・何を)	町内児童生徒、町民、観光客
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 ■ 補助金 □ その他( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民有地・神社有地地権者の同意</li> <li>・磯浜古墳群調査総括報告書の作成</li> <li>・史跡調査検討委員(大学教授等)による調査研究指導</li> <li>・磯浜古墳群シンポジウムの開催</li> </ul>
事業の成果 (意図する成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯浜古墳群(姫塚古墳・日下ヶ塚古墳・車塚古墳)の国史跡指定</li> <li>・ふるさと大洗の歴史や風土などに関する教育を実践する場の保存・整備範囲の明確化</li> <li>・研究者による指導や定期的なシンポジウムの開催を通して、考古学面における全国区の史跡として育てていく。</li> </ul>

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	2,276千円	3,153千円	12,827千円	
	決算額(千円)	2,098千円	2,752千円	12,342千円	
	内訳	一般財源	1,050千円	1,606千円	7,207千円
		国県補助金	1,048千円	1,146千円	5,138千円
		その他	—	—	—
執行率(%)	92.2%	87.3%	96.2%		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	シンポジウム	—	1回	1回
	民有地国指定同意	—	—	12人
成果指標	シンポジウム参加者数	—	179人	147人
	うち町民	—	48人	21人
	うち町民以外の県民	—	66人	72人
	うち県外	—	65人	54人
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		史跡の保護・活用事業は、全国的にみても、教育委員会生涯学習課が所管し、文化庁による文化財関係の補助金を得て実施するのが通例であり妥当である。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		令和2年3月10日、民有地・神社有地を含む12,690.8㎡が、大洗町初の国指定史跡・磯浜古墳群となり、国の歴史を理解する上で重要なものとして恒久的に保護されることが決まった。また、シンポジウムについても、広く周知を図り、町内ばかりではなく県内外からの多くの参加者があり、価値が共有できた。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		令和元年度中の国指定を目指し進めてきたところであり、今年度は報告書作成に係わる人件費や印刷製本費等が増えているが、国指定具申までの期間が7月末と4か月程度しかなかった中で、総括調査報告書の作成・民有地の同意・具申書の作成など、短時間で効率的に実施することができた。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続
<input type="checkbox"/>	改善のうえ継続
<input type="checkbox"/>	事業を拡大
<input type="checkbox"/>	事業を縮小
<input type="checkbox"/>	休廃止を検討
<input type="checkbox"/>	事業完了

⇒

改善案、廃止・休止案等

【評価委員の意見】

○調査報告書の作成等大変だったと思うが、国史跡に指定されたことは非常に高く評価できる。これからの展開が楽しみな事業である。すでに様々な計画が立てられ進行しているようだが、磯浜古墳群が県内、および県外からも人々が訪れるような事業になるように進めていただけたらと思う。また大洗町のシンボルの一つとして町民が誇りに思えるような史跡にしていたただけたらと思う。

○磯浜古墳群が国の史跡指定を受けたことは、当時の遺跡や発掘されたものから、過去の大洗に住んでいた人々の歴史を明らかにできる大きな前進になったと高く評価する。12月に開催されたシンポジウムには、町民のほか、県内外からも多数の参加者があり、今後の調査研究、発表等にも期待したい。

令和元年度 点検評価シート

No.14

事務事業名	若手教員育成事業	担当課	学校教育課
-------	----------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	6	安心して学べる質の高い教育環境づくり
	施策	1	教職員の資質向上
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	若手教員(初任者・2年次教員)の実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。
事業の対象 (誰を・何を)	大洗町立小・中学校に勤務する採用1年次教員(初任者)及び採用2年次教員(2年次教員)
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>初任者については、合同で年2回の研修を行う。1回目は教育長・教育研究会長・指導室長の講話や指導室との談話を行い、2回目は大洗町の名所・旧跡及び教育関連施設・原子力関連施設を見学する。 2年次教員については、対象者それぞれで年1回の研修を行う。町教育委員会指導主事及び学校職員が授業を参観した後、授業改善に向けた協議・助言指導を行う。</p>
事業の成果 (意図する成果)	<p>初任者は、教員としての基本的な心構えをもつとともに、大洗町並びに町の教育について理解を深めることができる。</p> <p>2年次教員は、授業力の向上を図ることができる。</p>

【事業費の推移】

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算額(千円)	—	—	—	
	決算額(千円)	—	—	—	
	内訳	一般財源	—	—	—
		国県補助金	—	—	—
		その他	—	—	—
執行率(%)		—	—	—	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	対象者数	8人	8人	8人
	初任者研修	5月18日、8月10日	5月21日、8月21日	5月17日、8月20日
	2年次研修	2月中	2月中	2月中
成果指標	参加者数	8人	8人	8人
	初任者研修実施日数	2日/年	2日/年	2日/年
	2年次研修実施日数	1日/年	1日/年	1日/年
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		新規採用となって間もない時期に講義を行うことで、大洗町での勤務に臨むにあたっての基本的な心構えをもたせることができる。また、町の教育関係者とのつながりをもつ機会となるので、以後安心して職務にあたることができる。2年次教員は、1年間の経験を生かしながら授業の構想を練ることで、指導力のさらなる向上が期待できる。したがって、この事業の妥当性は高い。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		教員としての心構えをもつことに加え、町の良さを実際に目で見て実感することで、町に愛着を持ち、子どもたちのために尽くそうとする意欲を高めた。各学校では、新採教員が生き生きと勤務する姿が見られた。2年次教員の授業実践・検証には他の教員も参加するので、学校全体の指導力の向上につながるとともに、若手の活躍がよい刺激を与えている。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		本事業は県の若手教員研修制度(初任者:校内研修年間185時間以上、校外研修年間15日間、2年次:校内研修年間10時間以上、校外研修年間2日間)を生かして行っている。費用をかけずに町の特性を生かした研修ができていたため効率的である。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

○初任者および2年次教員に向けての町独自の研修を実施する事業であり、中間の指導者層が減り若手教員育成が困難になっている時代において評価できる事業である。小さな町らしい事業として、研修を受ける側が主体的に自ら成長していけるような研修にしてもらえたらと思う。指導室との談話や授業改善に向けた協議なども、自由に意見交換できるような雰囲気を実施されるように努めてほしい。

○初任者研修の一環として大洗町の名所・旧跡や施設等を巡ることで、本町の特色、歴史、価値、そして、課題を体験的に学ぶことができ、本町の目指す教育を深く理解できる有効な事業と評価する。そして、2年次における指導力向上のための研修に、教育委員会と学校全体が加わって校内研修として行われることは、学校教育全体の質の向上にとっても有効であると考えます。

## 第4 評価委員からの総合評価・意見

### 【評価委員の意見 1】

評価させていただいた事業の一つの大きな特徴は芸術や文化・スポーツ、科学を意識した事業が多いということである。事業 No.2、3、4、5、8、9、10、12、13 などである。大洗は小さな町だが、今後も芸術や文化・スポーツ、科学を大切に、文化・科学の町大洗を、町内に対しても、県内・県外に対してもアピールできるようにしていくのではないかと感じた。人手のかかる事業も多く大変だろうが、ボランティアの活用なども、町づくりにとって重要な意味をもつのだと思う。手作りの事業、おもてなしを感じる事業を進めていくこと、そして町民が主体的に事業に企画あるいは参加できるような環境を作っていくことは、町が活気づくためにも大切なことだと思う。

もう一つは、広い意味で学力向上につながる事業が充実しているという点である。事業 No.1、6、7、11、12、14 などである。学力向上に対して、単に宿題を増やすであるとか管理的に行うのではなく、子どもたちが面白いと感じ、主体的に学習したくなるような事業を組んでいくことは、今求められている「主体的・対話的で深い学び」を成立させていくために非常に重要な意味を持っているように思う。また、この点は上記の文化・科学にかかわる事業についてもいえることだが、大洗町らしい事業が多く企画運営されていることも素晴らしいと思う。郷土愛の育成にもかかわる点である。

今後、教育行政は、働き方改革、さらにはポストコロナを意識した改革を進める必要があり、事業の効率化が重視される時代が来ると思われる。そしてともすれば、効率化のなかで、教育行政が過度の管理に陥り、金太郎飴のような特徴のない教育、外から責められないことを意識した形式的な教育に陥っていく危険性が高まっていくということがいえるだろう。しかし、そこでも大洗町らしく、手作り感やぬくもりをもった事業にこだわって事業を展開していただけたらと思う。もちろん、事業の全体構造をどのように構築していくかを見据えて、各事業の見直しや事業内容の点検を行っていくことを求められると思うが、そこで大洗町の特徴が消えるようなことになってはならない。

最後に一つ学校教育についてのお願い。事業を進めるにあたって、それがいい事業であればあるほど、どうしても教師が忙しくなってしまう可能性が高まってしまふ。しかし、事業の企画にかかわっては必ず教員の負担を減らすという視点を忘れないようにしていただけたらと思う。

【評価委員の意見 2】

大洗町は、小さな町の良さを生かし、施設や人材など地域のもつ力を十分に活用しながら多くの事業を大事に展開していると感じた。

まず、「三浜駅伝競走大会」のように営々と継続されている伝統的な事業は、関係機関等と緊密に連携をとりながら、「きらめき通り」にコースを一部変更して実施された。寒さをものともしない選手と応援者の姿に、新しく生まれ変わっていく大洗の町が重なった。きらりと光るアイデアの効果と思う。

また、「町民会館自主事業（大洗音楽祭）」は、歴史は浅いものの子どもたちも地域住民も明るい明日の未来に夢と希望と誇りがもてる事業である。是非継続させ、大洗町ならではの伝統的な事業になることを願っている。

さらに、平成13年から実施され定着してきている「みんなにすすめたい一冊の本事業」では、児童生徒に多くの本と出会わせたい、読書の質を高めたいと各学校では様々に工夫をしている。そのような中で、大好きな一冊を何度も繰り返し読む楽しさを味わう児童生徒もいるかと思う。読み直し、読み深めることで違った考えに気付くことがある。数字に表れない読書指導の充実に向け、その子の読書スタイルをつくらせることも大切になるのではないかと思う。子どもたちがわくわくドキドキしながら待っている絵本の読み聞かせや親子読書など、家庭と連携をとりながら、幼児期の読書活動も視野に入れて本好きな子どもを育てていって欲しいと思う。今後も小さな一歩を大事にしていだけたらと思う。

「継続は力なり」とよく言われるが、「部活動指導員設置事業」や「高校生会」「外国語指導助手配置事業」、「科学する心の育成支援事業」「若手教員育成事業」などは、継続することで児童生徒一人一人が自分の目的に向かって全力でチャレンジし続ける力を培えるとても重要な事業だと思う。そして、実施する過程で教師の負担を軽減し大洗町らしい働き方改革の在り方がつくられていくのではないだろうか。

「磯浜古墳群国指定化事業」や博物館の「第7回特別展 武石堯絵画展」「開館90周年記念森の音楽会」などは、なかなか数量で計れない難しい面もあると思うが、観光立町の大洗町にとっては、古墳も埋蔵品も博物館の所蔵品も学術的にも重要な資源であり、これから町全体で取り組んでいくべき大切な事業と思う。

